

第4回定例会(11/30~12/17)が始まりました。  
1日目(11/30)平成23年度  
一般会計・特別会計決算が可決されました。

決算審査特別委員会(11/5~11/9)の結果を受け平成23年度一般会計・特別会計決算が第4回定例会で賛成多数で可決されました。

### 和泉市が行った平成23年度主要施策(抜粋)

議会映像配信・町会連合会活動補助金・人権啓発冊子配布・市民自立支援相談事業・外部評価制度導入和泉再生プランに基づく事業の運行管理・自治基本条例啓発冊子配布・男女共同参画啓発冊子配布・交通安全教室開催と幼児用ヘルメット助成・コミュニティバス運行・北部リージョンセンター整備事業・南部リージョンセンター管理運営事業・市政施行5周年事業・防犯灯設置費電気料金補助金・防災備蓄庫設置・コンビニ収納実施電子申告サービス実施障がい者自立支援医療費給付・敬老祝金支給・イクメン啓発事業・子ども手当支給・休日保育事業・母子家庭自立支援給付・いずみエンゼルハウス助成・母子健康診査事業・高齢者支援事業・ごみ減量推進啓発事業・合併処理浄化槽設置管理費助成・土地改良事業補助・産業振興奨励金・河川改修事業・公園管理事業・市営住宅管理事業・高規格救急車購入・横山分署用地購入・英語指導助手配置事業・支援学級介助員配置事業・学校安全緊急対策事業・青葉はつが野小学校整備事業・耐震補強等事業・文化芸術振興事業補助金・南池田中学校整備事業・留守家庭児童会運営事業・史跡整備事業・図書館管理運営事業・国民健康保険事業・市街地再開発事業・介護保険事業・和泉診療所事業・後期高齢者医療事業等

### 季節の風情



いちょう

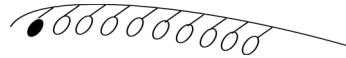
### つむじ風銀杏の子たちが逃げ惑う

会派 五月会(柏富久蔵・関戸繁樹・森久住)  
総務安全委員会委員・議会運営委員会委員  
和泉市都市計画審議会委員・病院問題特別委員会委員  
和泉市適正就学対策審議会南池田中学校区臨時委員  
南大阪振興促進議員連盟

### 森ひさゆき取り組み目標進捗状況(%)

10 50 100

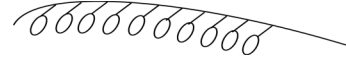
#### ■ゲートキーパー推進



#### ■若者自立支援対策



#### ■次世代リーダーの育成



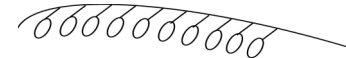
#### ■通学路整備の推進



#### ■学校施設設備の改善



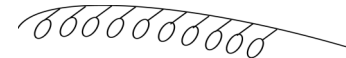
#### ■ボランティアネットワーク構築



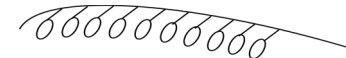
#### ■補助金に頼らないまちづくり運営組織の発足



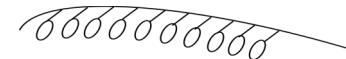
#### ■武道団体連絡会の発足



#### ■これからの課題未定



#### ■これからの課題未定



### 欄外(議会ハプニング) 言い切り

第3回定例会最中に傍聴席で何やら騒ぎが、初老の帽子をかぶっての傍聴が規則違反のため脱帽を強いられていた。少しのやり取りの後、議長からの命令により議会事務局職員に担がれての退出となった。老人の言い分はこうである。「老人が寒いので帽子をかぶっているのはいいのよ。」またそのこと以外の市政に対する抗議の文言も叫んでいた。通常ならことはこうならないはずだが何か意図があっての抗議の様子。抗議の場所を間違えた感否めないが、気の毒にも思えた。一つ検討課題がふえたような気がする。

連絡先 〒594-1117 和泉市鍛冶屋町344-2  
TEL 0725-55-3799 FAX 0725-55-4288

Mail : info@morihisayuki.com

http://www.morihisayuki.com

稲穂通信 発行責任者 森ひさゆき

### 和泉を守るゲートキーパー宣言

和泉市議会議員

2012.12.1発行

## 森ひさゆき 稲穂通信 第1号

任期が始まりました(9/23)  
この季節、稲穂を見ると子供の頃  
をおもいだします。

「実るほど頭(こうべ)を垂れる  
稲穂かな」母がいつもいていた  
この言葉。

自分自身を稲穂にみたてて実っ  
てみたい。そんな思いでこの報告  
を稲穂通信といたします。

初めての定例会・委員会を通  
り経験しての報告となりました。  
ご意見をお待ちしています。

市議会議員選挙ご支援  
ありがとうございました



### 初めての議会

よく和泉市のために頑張ってくださいと激励を受けることがあります。和泉市がどんなことに取り組んでいるのだろうかが一番気になることです。そしてすばらしい和泉市のためにどう取り組んでいけばいいかを考えていました。

しかし、議会に出してみると少し趣が異なっています。二元代表制という市民から選ばれた首長と議員が同じ対等の立場で施策や行動を違う立場から注視するようになります。

議会は行政から上程された議案について議員が審査審議するという形をとります。質疑があれば議員は行政に対して質疑し答えを求めます。最終的には議会の決議により決定されますが、残念なことは議員が行政の政策立案からの議論に入ることはありません。行政により立案されてきます。よって異論ある時は質疑により効果を導き出すか、あるいは反対の立場をとることになります。

会議は議論し構築し多数決で決めるものだと思っていたことに少しギャップを感じます。

政策立案の時点での議論があればもっと効果的であるとはしばしば感じるがあります。議員同士での議論も多くはありません。自分に課せるのは今後議員からの提案や政策立案能力を高め今以上の議論ができるような議会の活性化ができればとおもっています。

# 市民税減税5%について

総務安全委員会  
質問

## 質問内容

- (森)他の自治体で同じような減税を検討又は実施しているところがありますか。減税の根拠、効果、メリット、デメリットはありますか。
- (理事)名古屋市・半田市・大治町(愛知)、北本市(埼玉)、金武町(沖縄)の三市二町が取り組んでいます。長引く景気低迷の中、市民税の減税は税を負担している方への施策であり、経済効果を目的とせずあくまでも生活支援と考えています。
- (森)その中でモデルケースとした市はありますか。
- (理事)愛知県の半田市をモデルに少しでも暮らしを助けたいと考えます。
- (森)前回否決という結果の議案を再度上程した理由は何ですか。
- (理事)否決理由の一つである「再生プランの目標効果額を減税に使うのはおかしい」という議会の意見を尊重し、平成23年度決算において5%減税分に見合う財源を生み出すとともに、平成27年度末時点での基金残高が再生プランの目標をほぼ達成できる見通しとなったことによります。
- (森)地方交付税との関係はどうですか。
- (理事)地方交付税の算定は、減税前の標準税率で算定されるため影響しません。
- (森)住民税に基づく国民健康保険料、介護保険料、保育料などへの関連はどうですか。
- (理事)市民税に関連している制度は減税前の標準税率で算出しているため金額の変動はありません。
- (森)任期1年以内の上程ですが、この時期での上程に意図、問題はありますか。

(市長)1期目の公約なので在任期間中の成果として行革効果を減税という形で納税者に還元するものです。

(森)暫定1年としていますが計画的な実施はどうですか。

(市長)目標額を上回る効果を生み出し引続き減税を実施したいと考えますが、他の施策との優先性を比較検討し、議会や市民の意見も踏まえ総合的に判断したいと考えます。

(森)最後に市長はこの減税に政治生命をかける決意はありますか。

(市長)この議案もそうですがすべての議案に政治生命をかけて取り組んでいます。中でも市民税減税は、私の公約の中で最も重視する政策であり昨年否決となった財源確保の一定にたどり着くことができましたことから、目標10%には至りませんが、今回の提案となりました。

### 市民税減税5%に賛成した理由

反対者の理由に今なぜ減税か。もっと他の使い道があるのではないか。次の市長選に向けての公約実行の意図があるとの意見がありましたが、前回の否決要因を市長はじめ職員の努力により給与カット、事業の見直しなど財源の確保が出来たことにあわせて減税は税を負担している方への施策であり生活支援と考える政治家としての首長の公約実行は認めたいものがある。よって賛成としました。

総務安全委員会で可決されました。その報告を受け第3回定例会において審議の結果賛成多数で市民税減税5%の議案が可決されました。近畿では初めてのことで、**25年度実施**

議会中継は和泉市ホームページよりご覧になれます。  
<http://www.city.osaka-izumi.lg.jp/>

## 第3回定例会(10/1~10/25) 学校施設設備と通学路について

### 一般質問

この内容は12月発行の議会報告に掲載されていますので要旨報告とします。

### 質問答弁要旨

児童が学ぶための学校とその学校へ通う通学路についての現状把握と改善を求め今回はハード面について質問しました。詳細には学校の建設時期・施設設備の現状と取組・不備による事故報告・消防防災設備、通学路の事故報告・危険個所の把握・グリーンベルトの実績と予定について質問し次の内容が確認されました。学校施設設備については大規模改修事業の取り組みと耐震化工事の進捗に触れ消防防災設備とともに対策が必要と示されました。通学路についても路面標示など危険個所への対策とグリーンベルトの実施についても示されました。

### 第5回市立病院あり方検討委員会傍聴報告(11/13)

学識経験者等による市立病院あり方検討委員会が計5回行われて閉会しました。公立病院の使命・施設の老朽化の建替え問題・経営状況と現在の経営形態・改革の方向性・独立行政法人と指定管理者制度・選択すべき経営形態と委員会議事は進み指定管理者が相応しいとの答申となりました。今回の答申をうけて市長が最終判断をします。この答申がどこまで反映されるか結果を待ちたいとおもいます。

※また市議会として庁舎整備特別委員会・病院問題特別委員会が設置されました。今後両特別委員会において検討が行われます。私も議論の場としたいとおもいます。内容については次回の報告に掲載いたします。